



# レポート

石川県教育支援センターやすらぎ羽咋教室通信 令和5年12月発行  
 〒925-0021 石川県羽咋市吉崎町ラ1番地2(羽松高校内)  
 TEL・FAX 0767-22-0345  
 URL <http://www.ishikawa-c.ed.jp/~ushouh/yasuragi/index.htm>

やすらぎ羽咋教室のやすらぎファームで育てたサツマイモをすべて掘り起こしました。夏場もせつせと水やりに励んだので、さぞたくさん収穫できるのではないかと密かに思っていたのですが…。数は多くありませんでしたが、ラグビーボールのような大きさのイモが何個もあり、通室生と一緒に「わぁ大きい！」と歓声を上げました。ポキッと折れたり傷ついたりしないよう、丁寧に土を除けている生徒の様子に目を細めました。満足感いっぱいでした。

さて、やすらぎ羽咋教室では、いろいろな悩みの相談を受け付けています。児童・生徒のみなさんや保護者・先生方の相談など、専門家の方々と一緒に考えていきます。3学期に向けて、また進級進学に向けての心配事などお気軽にご連絡ください。



## 教育相談概況

令和5年11月30日現在  
 ( ) 内は令和4年度

令和5年度	4月～7月	8月	9月	10月	11月	計
来所相談	28 (34)	0 (0)	11 (10)	7 (5)	6 (9)	52 (62)
出張相談	5 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (4)
電話相談	47 (18)	2 (1)	11 (4)	3 (4)	3 (4)	66 (33)
計	80 (56)	2 (1)	22 (14)	10 (9)	9 (13)	123 (99)

## 1月から3月までの相談日

やすらぎ羽咋教室 TEL0767-22-0345

### ◇SV スーパーバイザー

田幡 啓子先生 (公認心理師・臨床心理士)

第16回 1月11日 (木)

第17回 1月25日 (木)

第18回 2月8日 (木)

第19回 2月22日 (木)

第20回 3月7日 (木)

### ◇SSW スクールソーシャルワーカー

石井 了恵先生 (精神保健福祉士)

第8回 1月18日 (木)

第9回 2月15日 (木)

第10回 2月29日 (木)

### ◇SC スクールカウンセラー

山谷 文彦先生 (公認心理師・臨床発達心理士)

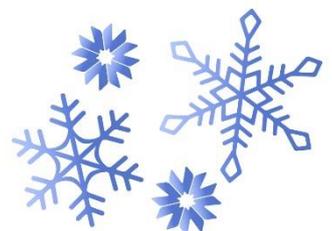
第9回 1月9日 (火)

第10回 2月6日 (火)

第11回 3月5日 (火)

## お知らせ

\* 12月29日 (金) ~ 1月3日 (水) は、閉室となります。



## やすらぎ羽咋教室研修会

11月8日（水）公立能登総合病院精神センター長精神科医 栃本真一先生を講師にむかえ、『発達障がいの子どもたちとの関わり方』というテーマで講演・研修会を行いました。地域の教育センター相談員、やすらぎ教室相談員、中学高校や特別支援学校の先生方など、合計28名の参加がありました。



能登総合病院

における神経発達症診療の傾向から、自閉スペクトラム症（ASD）や注意欠如・多動症（ADSD）の特性と生活リズムや睡眠との関係について、また不登校対応や自傷行為・パニックへの対処について説明がありました。さらに精神科で使用のお薬について、具体的な症状と効用・副作用等詳しくお話がありました。

### 【参加者の感想から】

◆自閉スペクトラム症の人の言動にある「合理的な理由」に対し、正しく共感できることがその後の対応が自ずと決まってくるというのが、心に残りました。どうしても主観が入ってしまうところがあるので「虚心」に向き合う姿勢を意識して、生徒と向き合うよう努めていきたいと思えます。

◆これまで断片的に知っていた知識を整理して理解することができた。「正しく共感するために、援助者は我を離れなければならない」というまとめが印象に残った。最終的には「人と人」ヒューマンなやりとりが大切だと理解した。

◆医学の立場から、発達障がいについて・薬について、お話ししていただき、ありがとうございました。質問にもあったように、発達障がいの子どもが増えており、その子どもたちが不登校になりセンターに通室することになっています。実際に医療とつながっている子どもも多くいます。「生活リズムを整える」ことは、発達障がいの子どもだけではなく、どの子どもにも必要なことだと思います。結局は、全ての子どもが安心安全に過ごせることが必要だと思いましたが、我々がどこまで伝えられるか悩ましいところです。先生の診察が、患者によっても合う合わないことがあるというのも、栃本先生の謙虚さを感じました。今後、学校、支援センターと病院がもっと連携をとれたらいいと思いました。

◆発達障がいの子どもたちとの関わり方について、医療の面からお話を聞くことができ、勉強になりました。子どもたちが飲んでお薬について、名前は知っていましたが具体的にどのように効くのか知ることができました。薬の調節や副作用についての不安に支援できるといいなと感じました。栃本先生への質問の部分がとても良かったです。みなさんの困りごとについて、私たちも日々悩んでいるところでもあるので、とても参考になりました。



栃本先生ありがとうございました。